

豊能町活性化プログラム

プログラムの位置づけ

豊能町では、第4次総合計画のまちの将来像に「人とみどりが輝くまち とよの」を掲げ、住民と行政が協働で、豊能の自然・歴史・文化などを活かした取り組みを進め、人と人との絆や出会い、温もり、新たな発見や生きがいなどが得られるまちを目指しています。厳しい財政状況のもとでの行財政運営は、限られた財源で最大の効果を生み出すよう、選択と集中による政策決定や財源の適正配分が必要です。このプログラムは、第1期実施計画期間中（平成23年度から平成25年度）に、まちの活性化に向け重点的に取り組む施策をまとめたものです。

重点施策（3つの柱）

教育・子育てのまちづくり

保護者が次代を担う子どもを働きながらも、安心して育てられるよう子育て支援策を充実します。幼保小中の一貫で、子どもの言語力・学習力・生活力・体力など確かな力を育む特色ある教育を推進します。

「とよの」が育てたい子ども像…「挨拶ができる・読書が大好き・自ら学ぶ」子どもを育てます。

- 幼保一元化と保育の充実 …………… 保育所と幼稚園を併せもつ「こども園」の開園、幼稚園の預かり保育・完全給食の実施、待機児童^{ゼロ}策を行います。
- 保育料の無料化・乳幼児医療費助成の拡充 …………… 保育所・幼稚園の第2子以降の保育料を無料化、小学6年生までの入院医療費を無償化します。
- 放課後児童健全育成事業の充実 …………… 留守家庭児童育成室の保育終了時間を延長します。
- 学力・体力のUP …………… 魅力ある保育・授業作り、習熟度別授業等指導方法の創造・工夫を行います。
- 読書活動の充実 …………… 朝読・家読の普及と子ども関係図書を充実します。

定住化の促進

まちの人口増加につなげるため、転入促進につながる情報発信や交通アクセスの改善、土地の有効利用を図るための条件整備を行います。

- 豊能町のPR …………… 自然に恵まれた環境や特色ある教育などまちの魅力を町外に積極的に情報発信し、まちの認知度アップに努めます。
- 空き家バンク制度の創設 …………… 町内の空き家情報を収集し、ホームページ等での情報提供を充実します。
- 交通体系の再構築 …………… 箕面森町へのバスの乗り入れによる利便性向上など、路線バスや鉄道を組み合わせて交通体系を再構築するための社会実験を行います。
- 地区計画ガイドラインの策定 …………… 市街化調整区域での景観保全に配慮しながら自然と調和した適正な開発・整備を誘導するための指針を策定します。

農林・観光の振興

農産物直売所を住民等との協働で開設し、特産品のPRや観光情報の発信、農林業振興の拠点とすることにより、都市と農村との交流の促進やまち全体の魅力の向上につなげます。

- 農産物直売所の開設 …………… 町の空き施設等を活用してモデル的に開設し、拡大・充実します。

実現に向けて

プログラムの各事業は、財政再建計画や更なる事務事業の見直しなどを進めることにより必要な財源を捻出し、住民との協働などさまざまな工夫をしながら効果的かつ効率的に実施します。

持続可能な財政運営

住民参画・協働の仕組みづくり